

**【議題 1 個別実証事業について】**

第2回有識者会議ディスカッションポイント	2
プラットフォーム事業と個別実証事業の役割	3
個別実証事業の計画について	4
特定健診	5
介護予防	7
認知症予防	11

# 第1回有識者会議での主なご意見と、第2回資料でご議論いただきたい事項は、下記の通りです

第2回有識者会議  
ディスカッションポイント

## 第1回有識者会議 主なご意見

### ▶ ポジティブリストと個別実証事業との関係性

…「プラットフォーム事業の結果を実証事業でどのように活用するのか」

### ▶ 個別実証事業について

…「ある程度個別事業の中身が分からないと、有意義な検討ができないため、一度、個別の実証のデザイン、対象、期間等に関する説明を伺いたい」

### ▶ ポジティブリスト作成のスケジュール

…「ポジティブリスト作成は3か年計画か今年度なのか。」

### ▶ ポジティブリスト作成の際の視点について

…「国際的に評価され始めているEquityを加えることを検討してはどうか。」  
…「日本への適応については、別途議論が必要と思われる。」  
…「労働損失を考慮するかどうかでも異なる。」

## 第2回資料の該当部分とご議論いただきたい事項

「1. プラットフォーム事業と個別実証事業の位置づけについて」で、ご説明いたします。

本事業と個別実証事業の位置づけについてご確認ください。

既に計画が策定されている事業に関して、ご説明いたします。

研究計画の方向性や調査を進めるうえで必要な観点等について、ご意見をお聞かせください。

「2. ポジティブリスト作成までの流れについて」で、ご説明いたします。

ポジティブリスト作成の中間成果物であるエビデンスレビューの一覧表を今年度の成果物と想定しています。

エビデンスレビューの進め方とアウトプットについて、ご意見をお聞かせください。

「3. 実施可能性等の検討課題について」で、ご説明いたします。

健康増進効果の示されている介入手法について、日本での実施可能性を検討する際の観点について、ご意見をお聞かせください。

# プラットフォーム事業では、主にポジティブリスト作成に向けての検討を、個別実証事業では既存プログラムの改良や新たなエビデンスの創出を目指します

プラットフォーム事業と  
個別実証事業の役割

## プラットフォーム事業と個別実証事業の役割の整理

### ■ 主にプラットフォーム事業で行う取組

- 予防介入手法に関する既存のエビデンスの整理（エビデンスレビュー）⇒ポジティブリスト作成に向けた検討  
※既存のエビデンスから得られるポジティブリストの候補を検討。個別実証事業で行われるエビデンスレビューとも連携。
- 個別実証事業に対して、健康増進効果等のよりの確な検証に向けた疫学的・統計学的な助言、指摘

### ■ 主に個別実証事業で行う取組

- 既存のプログラム（特定健診・特定保健指導、糖尿病重症化予防等）の効果検証及び改良に向けた検討
- 有効な予防介入手法がない分野での新たなエビデンスの創出（新たな介入手法の開発）  
⇒各個別実証事業において、健康増進効果等の検証を行う。

